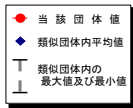


(3) 市町村財政比較分析表(普通会計決算)

平成22年度

福岡県豊前市

人口	27,666	人(H23.3.31現在)	実	赤	字	比	率	-	%
面積	111.17	km ²	通	結	実	赤	字	比	率
人口	11,789,669	千円	算	実	公	債	費	比	率
面積	11,509,381	千円	将	来	負	担	比	率	14.1
実	129,175	千円	99.4	%					
標準	6,930,543	千円							
地方	12,145,467	千円							

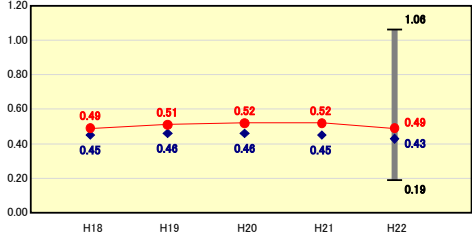


※市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。
 ※平成23年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率及び将来負担比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。
 ※充当可能財源等が将来負担額を上回っている団体については、将来負担比率のグラフを表記しない。
 ※類似団体内平均値は、充当可能財源等が将来負担額を上回っている団体を含めた加重平均であるため、最小値を下回ることがある。
 ※「人件費・物件費等の状況」の決算額は、人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし、人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

財政力

財政力指数 [0.49]

類似団体内順位 37/128 全国平均 0.53 福岡県平均 0.53

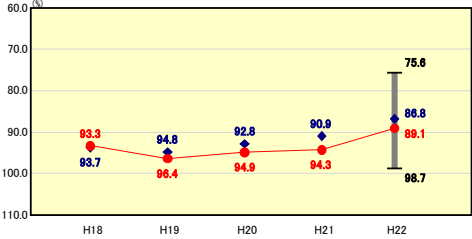


○財政力指数 [0.49]
 類似団体平均を上回っているが、ここ数年、大きな増減はなく推移している。景気の回復は足踏み状態にあり、雇用も依然厳しい状況にあるものの、今後も九州北部地域に集積の進む自動車関連企業の誘致など地域産業の活性化を図ることで、雇用機会の創出、活力あるまちづくりを展開しながら財政力の強化に努める。

財政構造の弾力性

経常収支比率 [89.1%]

類似団体内順位 90/128 全国平均 89.2 福岡県平均 91.9

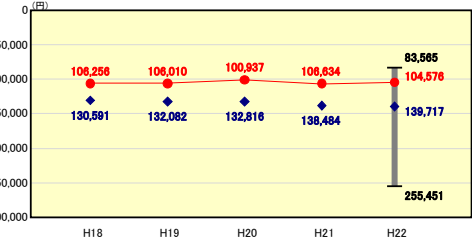


○経常収支比率 [89.1%]
 前年度比5.2ポイント改善したものの、類似団体平均を2.3ポイント上回っている。改善した主な要因は、①普通交付税の増加 ②臨時財政対策債の増加 ③定年退職者の減少による人件費の減少が挙げられる。「豊前市行政改革推進プラン」に基づき、人件費の削減等行政改革を進めるとともに、市税滞納者に対する個別徴収及び法的措置に基づく滞納整理の強化、口座振替の推進等による収確保や未利用財産の売却に努め財政の健全化を図る。

人件費・物件費等の状況

人口1人当たり人件費・物件費等決算額 [104,576円]

類似団体内順位 15/128 全国平均 114,985 福岡県平均 107,969

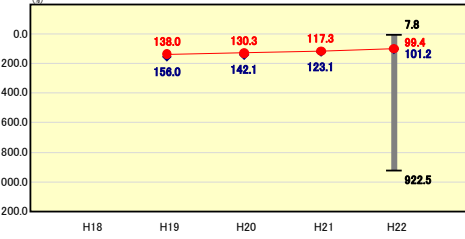


○人口1人当たり人件費・物件費等決算額 [104,576円]
 コミ処理業務や消防業務を一部事務組合で行っていることもあり類似団体平均を下回っているが、今後も、各種手当の見直しや給与・定員の適正化に取り組むことにより人件費の抑制に努める。

将来負担の状況

将来負担比率 [99.4%]

類似団体内順位 65/128 全国平均 79.7 福岡県平均 113.9

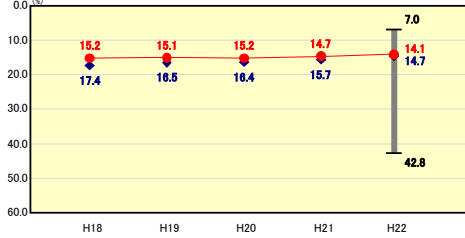


○将来負担比率 [99.4%]
 類似団体平均を下回っており、前年度と比較すると17.9ポイント改善している。これは、①地方債現在高が借入額の抑制により減少した ②ゴミ処理施設、広域圏事務組合等への組合等負担等見込額が減少した ③公営企業債等繰入見込額が減少したことによるものと考えられる。

公債費負担の状況

実質公債費比率 [14.1%]

類似団体内順位 58/128 全国平均 10.5 福岡県平均 12.0

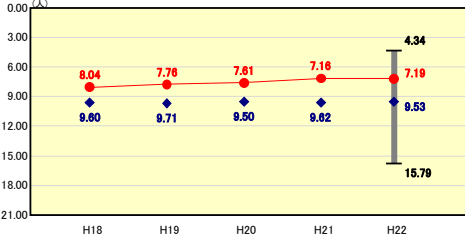


○実質公債費比率 [14.1%]
 類似団体平均を下回っているものの、高水準で推移している。準元利償還金(主に下水道事業)の増加及び経済対策等により実施した事業の元利償還金が多額であることが原因の1つと考えられる。今後、元利償還金がピークを過ぎたことから、実質公債費比率は低下していく見込ではあるが、財政計画に基づき新規地方債の発行抑制や繰上償還を行うなど、さらなる健全化に努める。

定員管理の状況

人口千人当たり職員数 [7.19人]

類似団体内順位 19/128 全国平均 7.24 福岡県平均 6.04

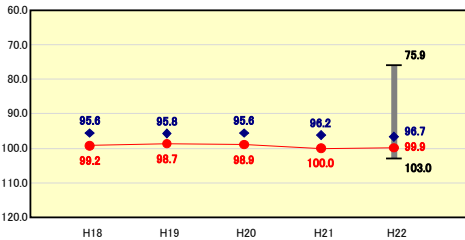


○人口1,000人当たり職員数 [7.19人]
 過去からの新規採用抑制により類似団体平均を2.34人下回っている。「職員数を215人体制とする」目標を設定し、今後も定員管理の適正化に取り組む。

給与水準 (国との比較)

ラスパイルズ指数 [99.9]

類似団体内順位 113/128 全国市平均 98.8 全国町村平均 95.3



○ラスパイルズ指数 [99.9]
 類似団体平均を上回っている。今後も年次別の定員適正化計画を策定し、定員管理の適正化に取り組む。また、国・類似団体の動向を踏まえ、適正な給与制度・運用となるよう努める。

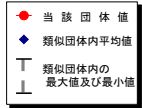
(4)-1 市町村経常経費分析表(普通会計決算)

平成22年度

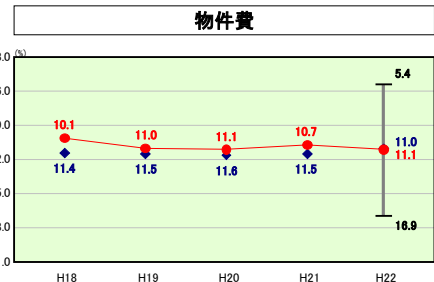
福岡県豊前市

経常収支比率の分析

人口	27,666	人(H23.3.31現在)	実赤字比率	-	%
面積	111.17	km ²	実赤字比率	-	%
歳入総額	11,789,669	千円	実公債費比率	14.1	%
歳出総額	11,509,381	千円	将来負担比率	99.4	%
実収支差	129,175	千円	市町村類型	H18 I-1	
標準財政規模	6,930,543	千円		H21 I-1	
地方債現在高	12,145,467	千円		H22 I-1	



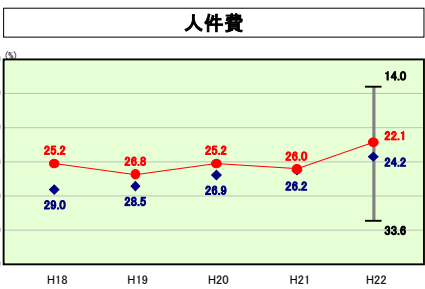
※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。



類似団体内順位 69/128 全国平均 12.8 福岡県平均 12.6

物件費の分析欄

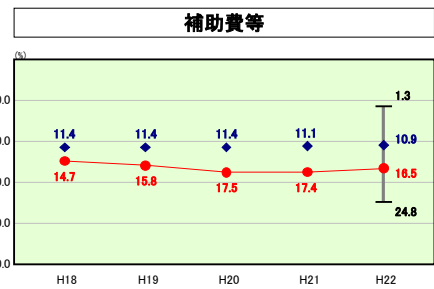
類似団体平均と比較するとほぼ同水準である。また前年度比0.4%増加している。これは、物品のリース契約の増加に伴い使用料及び賃借料が増加しているためである。今後も事務的経費の見直しによる経費削減に努める。



類似団体内順位 33/128 全国平均 25.1 福岡県平均 21.8

人件費の分析欄

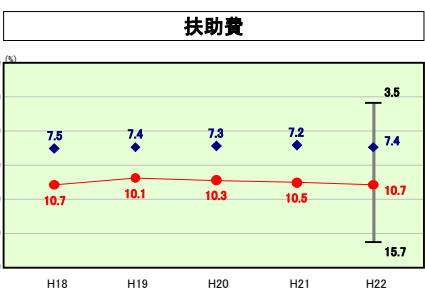
類似団体平均と比較すると、人件費に係る経常収支比率は低くなっている。これは、ゴミ処理業務や消防業務を一部事務組合で行っており、その人件費についても負担金として支出しているためである。また、調整手当・特殊勤務手当の廃止、大幅な人員削減を行ったこともその一因となっている。また、前年度比3.9ポイントの低下した要因は、職員数の減少(△14名)と退職手当の減少によるものである。



類似団体内順位 114/128 全国平均 10.1 福岡県平均 10.8

補助費等の分析欄

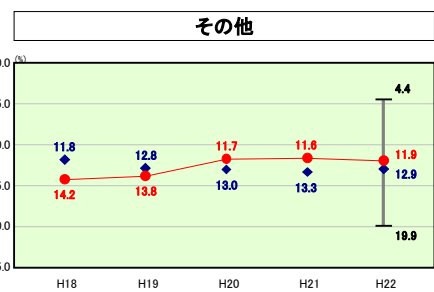
類似団体平均と比較すると、補助費等に係る経常収支比率は高くなっている。これは、①ゴミ処理業務や消防業務等を一部事務組合で行っており、その負担金が多額になっている ②下水道事業に対する繰出金が多額になっていることが原因である。今後は一部事務組合に対して行財政運営の改善を求め、各構成団体と協議しながら負担金の削減について推進する。また、各公営企業会計の健全な経営に向けた取り組みを推進し、繰出金の抑制に努める。



類似団体内順位 118/128 全国平均 10.4 福岡県平均 13.0

扶助費の分析欄

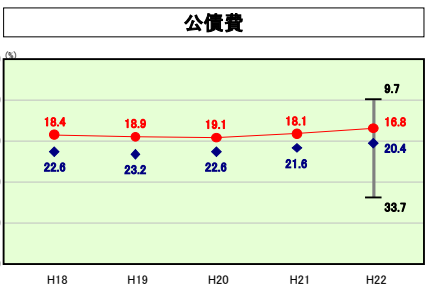
類似団体平均と比較すると、扶助費に係る経常収支比率は高くなっており、かつ上昇傾向にある。要因として、私立保育園の比率が高いため、児童福祉費に係る数値が高くなっているためである。また、生活保護者数の増加(保護率 H21 9.5% → H22 10.3%)や医療費の増加により生活保護費が膨らんでいることである。他法他施策の検討を進めていくことで生活保護費の抑制に努める。



類似団体内順位 45/128 全国平均 11.8 福岡県平均 11.0

その他の分析欄

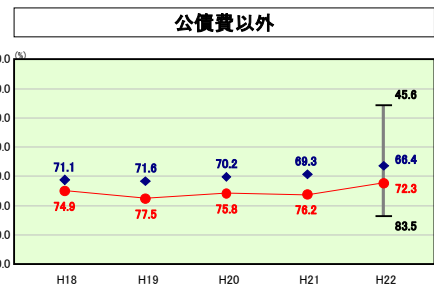
その他11.9%の内訳は、維持補修費1.1%及び繰出金10.8%である。繰出金は、前年度比減少しているものの、維持補修費が0.5ポイントの増加である。その主な原因は、道路施設及び学校施設の老朽化に伴う補修費の増加である。



類似団体内順位 38/128 全国平均 19.0 福岡県平均 22.7

公債費の分析欄

類似団体平均と比較すると、公債費に係る経常収支比率は低くなっている。これは、①近年地方債の新規発行を伴う普通建設事業を抑制した ②地方債残高を確実に減らしていくために、地方債発行額を元金償還額の範囲内に抑えた ③公的資金補償金免除繰上償還を実施したことによるものである。今後もこの方針を堅持しつつ、地方債残高の縮減に努める。



類似団体内順位 112/128 全国平均 70.2 福岡県平均 69.2

公債費以外の分析欄

類似団体平均と比較すると、5.9ポイント上回っている。その主な原因は補助費等と扶助費で、類似団体の数値をそれぞれ5.6ポイントと3.3ポイント上回っていることである。